

丹沢ボラネット瓦版

2013年6月号 No.86

2013年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会の報告

報告者 NPO法人丹沢自然学校 小林 昭五

平成 25 年 4 月 13 日 (土) 県自然環境保全センターレクチャールームにおいて、丹沢大山ボランティアネットワークの総会が開催される。



県自然環境保全センター(厚木市七沢)



総会の様子(レクチャールーム)

総会出席者の自己紹介から始まりました。

この4月から自然環境保全センターの自然保護課長が人事異動で萩原課長から森課長に変わりました。今後も宜しくお願いします。

ボラネット杉山代表世話人、自然環境保全センター濱名部長の挨拶で始まりました。挨拶の中で、各ボランティア活動に対するお礼と丹沢大山再生の現状と再生について等が話されました。

次に司会の小林から杉山議長に代わり議事に入りました。

議題1 「平成24年度事業報告」「平成24年度決算報告」

世話人会の住倉、世話人の栗林会計から報告と説明が行われ、次に住倉監事より会計監査結果の報告が行われました。全員挙手で承認されました。

議題2 「25年度事業計画 予算」(案)

世話人会の住倉、世話人の栗林会計から説明が行われました。

なお「水質調査」「登山道実態調査」「夏休み親子探検隊」については、「丹沢の緑を育む集い実行委員会」の助成事業になっており、「丹沢の緑を育む集い実行委員会」の25年度総会によって予算が承認されます。全員挙手で承認されました。

議題3 「世話人の改選」

世話人会の久松から提案と説明が行われました。全員挙手で承認されました。

平成25年度事業計画

1 総会

- 実施日 平成25年4月13日(土)
場所 自然環境保全センターレクチャールーム
内容 平成24年度事業・決算報告及び平成25年度事業計画・予算案他

2 世話人会

- 実施日 年4回(6、9、12、3月の第1水曜日)
場所 あつぎパートナーセンター
出席者 世話人及び自然環境保全センター
内容 事業の企画運営ほか

3 広報

- (1) 瓦版の発行 年4回
(2) 活動報告書の作成
(3) ホームページの更新

4 活動事業

- (1) 水質調査
実施日 平成25年5月～6月
場 所 丹沢大山地域 水場22箇所
内 容 大腸菌等10項目の水質検査
- (2) 登山者カウント調査
実施日 平成25年5月4日(土)
場 所 丹沢大山主要登山ルート2山頂(塔ノ岳、蛭ヶ岳)
内 容 各ポイントにおける上り、下りの登山者数を調査
- (3) 夏休み親子探検隊
実施日 平成25年7月28日(日)
場 所 山北町皆瀬川
内 容 公募県民親子を対象に丹沢の生き立ちや水の大切さを学習する
- (4) 交流会
実施日 平成25年11月9日(土)
場所 自然環境保全センター自然観察園
内容 池の外来種調査

5 関係会議等への出席

- (1) 緑を育む集い実行委員会総会
(2) 丹沢大山自然再生委員会

平成25年度 丹沢大山ボランティアネットワーク 世話人

名 称	氏 名	団 体 名	任 期
代 表	杉山 勉	グリーンタフ	再任 2013.4～2015.4
	小野 均	NPO法人四十八瀬川自然村	2012.4～2014.4
副代表	小林 昭五	NPO法人丹沢自然学校	2012.4～2014.4
会 計	栗林 弘樹	丹沢ゴミ調査会	2012.4～2014.4
	久松 皓二	NPO法人みろく山の会	2012.4～2014.4
監 事	住倉 英孝	NPO法人神奈川ウォータ ー・ネットワーク	2012.4～2014.4
監 事	酒井 明子	NPO法人丹沢自然保護協会	新任 2013.4～2015.4

平成24年度丹沢の緑を育む集い実行委員会ボランティア団体活動事業報告

1 「NPO法人みろく山の会」の報告

- ①大倉尾根の登山道の整備と植樹、植生回復 アザミ、テンニンソウ植樹
- ②ヤビツの森づくり 草刈り、植樹（20本） 植生調査
- ③やどろき水源林づくり 草刈り 植樹 植生調査

2 「神奈川県山岳連盟」の報告

三ノ塔、二ノ塔に通じる海拔 1,000m以上の地域のボランティア活動

- ①美化清掃活動植樹
- ②ヤマハンノキ（50本）
- ③植樹モニター植生改善など

3 「NPO法人野生動物救護の会」の報告

自然環境保全センターから放鳥する野鳥の脚に足環をつける Project を始動、神奈川県内で年間約 600 件程度の野生動物が救護されています。治療、リハビリ後、猛禽類及び水鳥に足環をつけて放鳥後の追跡調査をしました。

4 「NPO法人丹沢自然学校」の報告

丹沢再生の方法や実践するための基礎資料をつくります。西丹沢「つつじ新道」において過去3年間、調査地点9カ所で定点調査を行いました。

- ①ゴーラ沢の流量と位置の変化
- ②林床の植生 スズタケの退行
- ③林床の植生、高木の立ち枯れを調査しました。

5 「NPO法人四十八瀬川自然村」の報告

支援成果物、刈払い機による植樹予定地整備と夜間センサーカメラによる動物行動調査を行いました。



報告会の様子



ブナの高木の立ち枯れ

塔ノ岳 登山道利用者数実態調査 番外編

報告者 みろく山の会 自然保護部 鈴木 茂

丹沢大山ボランティアネットワークで継続して実施している登山道利用者数実態調査をゴールデンウィークの塔ノ岳で5月4日午前8時から午後3時まで行いました。

中高年の登山ブームと言われて10年以上経ちました。毎月大倉尾根で巡視活動を通して登山者の年齢層が明らかに変わってきていることを実感しています。さらにトレイルランナーも若い世代と共に増えてきています。昨年金冷やしで大倉尾根に登る若い世代の計数をを行い、ほぼ半数が見るからに若い世代であることがわかりました。

今年は塔ノ岳山頂で表尾根と大倉尾根の登りで見ることから若い登山者数を計数したところ全体の43%との結果が出ました。

山ガールの増加に伴い明るいカラフルな登山用品を身につけた若い世代の登山ブームになっていることは間違いありません。丹沢大山の自然や登山マナーなど若い世代に敬遠されないようにソフトタッチで声掛けしていきましょう。(ただし、見るからに若い世代とは計測者の主観に任せたもので、歩いて登る幼児から20歳代までとしました。)

参考：H24年は大倉尾根のみで実施

H24年	5月6日 (日)	表尾根	大倉尾根	計	
(2013)	全世代		226	226	
登り	20歳代以下		111	111	全世代比49%

H25年	5月4日 (土)	表尾根	大倉尾根	計	
(2013)	全世代	687	1345	2032	
登り	20歳代以下	307	580	887	全世代比44%



金冷しの測定現場

大倉尾根クリーンハイク 登山道整備報告

報告者 NPO 法人みろく山の会 鈴木 茂

神奈川県自然環境保全センターからの依頼で2013丹沢クリーンハイク大倉尾根の登山道整備指導員として参加しました。

5月26日（日）8：30大倉で神奈川県勤労者山岳連盟の開会式後、みずなら山の会1名・川崎ハイキングクラブ7名（女性3名）・地平線の会2名（女性1名）・山ブキの会1名（女性1名）・一般参加1名の計12名（女性5名）とみろく山の会7名（女性2名）がそれぞれ自己紹介を行い、当会で毎月実施している整備活動及び水切り機能などの簡単な説明後、木杭20本と土嚢袋を参加者がそれぞれ分担して8：55出発しました。



階段作業



水切り設置作業

10：00見晴上部の活動場所に着き、整備活動で使用する丸太や道具類を取りに200m上部の倉庫まで往復し、丸太16本・木杭10本と道具類はカケヤ4・

唐クワ4・スコップ2・ハンマー4・パチズル1など体力に合ったものを運搬しました。

10：20労山及びみろくの参加者を階段工の丸太設置と水切り作業の2班に分け、それぞれ開始しました。古い階段工は登山者によるオーバーユースで丸太が細くなるか外れている箇所から登山道の崩壊が進みます。新たな丸太を木杭で固定し、踏み面には石を平に敷き詰める作業をまず指導員が行い、その後参加者が交替で行いました。



整備した階段工



完成した水切り

水切りは県で設置した丸太の上部を10cm程度掘削し、底板5枚をネジ取り付け、丸太5本と鉄杭で固定する作業を指導員と参加者で手際よく行い、予定を大幅に短縮して完成しました。

余った土砂は土嚢袋に入れ、斜面の土砂流失防止用としました。

階段工でも作業が早く、丸太が不足し倉庫まで追加で取りに行った人の到着を待って昼食

(11:40~12:00)。昼食後、階段工の続きの整備を継続し合計16本の丸太を使用しました。水切りの設置した斜面へ登山者の侵入防止として倒木設置と鉄輪杭とロープによる侵入防止を追加する作業後、記念写真を撮影。使用した道具類を倉庫へ掃除して返却。13:10に整備活動を終了しました。

参加された方々の熱意で、予定以上の整備箇所と作業成果に大変感謝しています。

みろく山の会では毎月、大倉尾根で巡視と補修活動を実施しています。見かけましたら声をお掛けください。



イベント参加者募集案内

ボラネットの団体の皆様からいただいた情報をお伝えします。積極的に参加して、団体間の交流を図りましょう！！



丹沢自然保護協会

◆森の学校（夏の教室） ～森から水から、丹沢まるごと体験～

日時： 8月19日（月）～22日（木）

場所： 丹沢札掛周辺と丹沢山～塔ヶ岳

集合解散： 小田急線秦野駅

対象： 小学4年～中学1年（対象外の年齢のかたはご相談ください）

定員： 30名（先着順）

費用： 22,000円（3泊9食他諸費用）

締切： 定員になり次第

申込・問い合わせ先： 丹沢自然保護協会・丹沢ホーム 0463-75-3272

メール： n-tanzawa@nifty.com 中村まで

* 持ち物など詳細は追ってお知らせします。



西丹沢の自然にふれあう会

◆月例清掃登山

「西丹沢の自然にふれあう会」では毎月、清掃登山を行っています。

軽いハイキングができる方、どなたでも参加大歓迎です。

2013年の予定は次のとおりです。集合の後、仲間の車に分乗して目的地に向かいます。参加費は一回千円です。

詳細はお問い合わせ下さい。

ryo9912@hyper.ocn.ne.jp 多田 慎一

日	行先	集合
7/27(土)	大又沢林道・地蔵平	8時・渋沢駅南口
8/24(土)	丹沢湖周回道	8時・新松田駅前バス停
9/28(土)	犬越路・加入道	8時・渋沢駅南口
10/26(土)	黍殻山・姫次	8時・愛甲石田駅北口
11/23(土)	玄倉林道	8時・渋沢駅南口
12/21(土)	三国山（鉄砲木の頭）	8時・渋沢駅南口



NP0法人みろく山の会

◆第32回清掃・登山道整備活動

日時 平成25年9月8日(日)

一般参加者は清掃2コース、整備2コースとなります。

お問い合わせ先 sizenhogo-bu@mirokuyamanokai.org

<http://www.mirokuyamanokai.org/>

コース	ランク	集合場所 コース	時間	集合場所と時刻
清掃				
1	S	<u>平和橋-水無川-戸川公園-大倉(計量)</u>	2.5	渋沢北口～秦野駅(菩提経由) バス 10:30
2	S	<u>大倉-上大倉-戸川公園周辺-大倉</u>	3	大倉バス停 10:45
3	A-A	<u>八幡神社-三廻部-勘七橋-西山林道-大倉</u>	4.5	渋沢北口 バス 8:46
4	B-B	<u>大倉-天神分岐-戸沢-戸川林道-大倉</u>	5	大倉バス停 8:50
5	B-B	<u>ヤビツ峠-二ノ塔-東丹沢林道牛首-林道-大倉</u>	5.5	秦野北口 バス 7:35
6	B-B	<u>大倉-二俣-後沢乗越-鍋割山-小丸-二俣-大倉</u>	6.5	大倉バス停 7:20
整備				
1	B-B	<u>大倉-大倉尾根駒止茶屋下階段(整備)-大倉</u> (A)	6	大倉バス停 7:50
2	B-B	<u>大倉-大倉尾根駒止茶屋下階段(整備)-大倉</u> (B)	6	大倉バス停 7:50



野生動物救護の会

◆夏休み子供体験教室 「野生動物を学ぶ」

8月3日(土) 神奈川県自然環境保全センターにて開催

◆動物フェスティバル神奈川 2013 in あつぎ

10月14日(月) 厚木市文化会館及び特設会場 展示参加

◆ジャパンボードフェスティバル(JBF)

11月3・4日(予定) 千葉県我孫子市手賀沼にて展示参加予定

◆秦野市民まつり

11月3日 秦野市立運動公園周辺にて展示参加

◆傷病舎大掃除

12月中旬予定 神奈川県自然環境保全センターにて開催

◆春休み子供体験教室「わくわく野鳥探検隊」

3月下旬(予定) 神奈川県自然環境保全センター周辺にて開催

◆秦野市立図書館衝突調査

毎月最終金曜日 現地にて

ほか足環プロジェクト(随時)、会報誌「RUNNER」発行、羽根標本等の作成(年数回)、探鳥会(年数回)



NPO 法人神奈川ウォーター・ネットワーク等

◆神奈川県下主要河川の水温の一斉調査

はじめに：神奈川県下の河川水溫の経年変化によると(水質の常時監視の定点観測結果)、約30年間の河川水溫では、平均水溫が3℃ほど上昇しているところも増えている。過去の金目川の水溫の一斉調査では、水溫が25℃を超える地点が多くみられ、一部の地点では28℃を超えるところもあり、アユにとっては、生息しにくい環境となっていることが確認されている。(神奈川新聞、2005/10/6)

それらの河川の一部では、河川水量が少なく水深がわずか数センチしかない場所や水の枯渇した水域があり、そこに生息する生き物の生存を脅かす問題が存在する。とくに水溫は、生物の生き方や生存を左右する大変重要な因子であり、魚類をはじめ、エビ・カニ類、水生昆虫類など変温性の水生動物に対して、その影響は強い。

温暖化が冷水魚の生息に影響を及ぼす可能性があることが指摘され、水溫上昇がそれらの動物の分布域を規定するといった報告もある。さらに、水溫上昇は、要注意外来種であるアメリカザリガニの分布拡大(北海道で確認)や南方系の外来生物の侵入を招くことにつながりかねない。

調査概要：このように、水溫は河川生物の生存を左右する大変重要な因子であり、特に、夏期に認められる最高水溫の分布状況は重要であろう。公共用水域の常時監視(河川水質の常時監視の定点)は地点も少なく、ごく一部を計測しているにすぎない。このことから、県下の主要河川について、夏季における高水溫時に、水溫の一斉調査を計画する。

調査の主体は、大学、NPO法人、地方自治体、市民など多くを対象とした協働の一斉調査とし、多くの主体自らが調査することで、水温環境の実態を知ることができ、これらに関する興味、理解が高まることが期待されるとともに、参加者の水環境保全活動への参加を促進することができると考えられる。さらに、多くの市民が参加することによって、多くの調査地点を設定できることから、水温環境のモニタリングとしての有用性である。また、子供たちの調査への参加は「環境教育」としての意義もある。

- 実施日時** 2013年8月11日（日） 午後1時から午後4時
- 調査項目** 水温
- 調査地点** 神奈川県下の主要河川（相模川、酒匂川、多摩川、金目川他）
- 実施主体** 神奈川工科大学（教員、学生）、NPO法人神奈川ウォーターネットワーク、NPO法人神奈川県環境学習リーダー会、さがみはら水生動物調査会、県民

◆ヤマメの産卵床造成

日時 2013年9月29日（日）

場所 山北町畑沢

活動内容 産卵床造成は、ヤマメが産卵するための河床のレキなどの環境を整えることです。放流に頼らずに資源量を増やすことを目的としています。漁業協同組合には増殖義務があるため、これまでは放流が義務として行われてきましたが、今年からは産卵床造成もそれに加えられることになりました。遺伝的多様性を損なう恐れのある放流に代わる増殖方法として期待されています。



神奈川県山岳連盟

日付	行事名	記事
10月20日	第四回環境登山（その2）	公募行事
10月30日	第26回かながわ県民登山（ハイク）	公募行事
2月15日～16日	第三回山の自然セミナー	公募行事

丹沢ボラネット瓦版 2013年6月号（通巻86号）6月30日発行
丹沢大山ボランティアネットワーク（世話人代表 杉山勉）